第五講　『史記』／「儒家・道家・法家」

一　次の文を読んで、後の問いに答えよ。

扁鵲過斉、斉桓侯客之。入朝ⓐ見曰、「君有疾、在腠理。①不治将深。」桓侯曰、「寡人無疾。」扁鵲出。桓侯ⓑ謂左右曰、「②医之好利也、欲治不疾者為功。」後五日、扁鵲復見曰、「君有疾、在血脈。不治恐深。」桓侯曰、「寡人無疾。」扁鵲出。桓侯不悦。後五日、扁鵲復見曰、「君有疾、在腸胃間。不治将深。」桓侯不応。扁鵲出。桓侯不悦。後五日、扁鵲復見、望見桓侯而退走。③桓侯使人問其故。扁鵲曰、「疾之在腠理也、湯熨之所及也。在血脈、鍼石之所及也。其在腸胃、酒醪之所及也。其在骨髄、④雖司命、無奈之何。今在骨髄。⑤臣是以無請也。」後五日、桓侯体病。使人召扁鵲。扁鵲ⓒ已逃去。桓侯ⓓ遂死。使聖人予知微、ⓔ能使良医得早従事、則疾可癒、身可活也。⑥人之所病、病疾多。而

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

医之所レハ病ム、病ム二道ノ少キヲ一。

（『史記』扁鵲倉公列伝による）

（備考）この文には、設問の都合で送り仮名を省いたところがある。

（注）扁鵲――戦国時代に活躍した伝説の名医。

斉――戦国時代の列強の一。現在の山東省一帯を統治していた。

桓侯――斉国の君主。

朝――斉国の宮殿。

腠理――皮膚の下。

寡人――君主の一人称。

左右――君主に仕える側近たち。

為功――自分の手柄とする。

湯熨――飲み薬と湿布による治療。

鍼石――針による治療。

酒醪――薬用酒および薬用の発酵飲料による治療。

骨髄――骨の中を流れる髄液。

司命――人間の命をつかさどる神様。

微――病気の徴候。

従事――治療にあたる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部①「不治将深。」について、

（１）書き下し文に改めよ。

（２）わかりやすく解釈せよ。

問二　傍線部②「医之好利也、欲治不疾者為功。」を、わかりやすく解釈せよ。

問三　傍線部③「桓侯使人問其故。」を、書き下し文に改めよ。

問四　傍線部④「雖司命、無奈之何。」を、すべて平仮名で書き下し文に改めよ（現代仮名遣いでもよい）。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　傍線部⑤「臣是以無請也。」は、どのような意味か。その理由も含めて具体的に八十字以内で説明せよ。

問六　傍線部⑥「人之所病、病疾多。而医之所病、病道少。」を、わかりやすく解釈せよ。

問七　波線部ⓐ「見」、ⓑ「謂」、ⓒ「已」、ⓓ「遂」、ⓔ「能」の読み方を、送り仮名も含めて、すべて平仮名で記せ（現代仮名遣いでもよい）。

ⓐ＝

ⓑ＝

ⓒ＝

ⓓ＝

ⓔ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　この文の教訓とする内容に最も近いことわざを次の（ア）～（カ）の中から一つ選べ。

（ア）良薬は口に苦し。　（イ）病治りて医師を忘る。　（ウ）酒は百薬の長。
（エ）病膏肓に入る。　（オ）恋の病に薬なし。　（カ）医者の不養生。

問九　次の文章の空欄（　A　）～（　D　）に最もふさわしいものを、後の（ア）～（コ）から選べ。

扁鵲の伝記を収める『史記』は（　A　）が著した歴史書であり、諸子百家と呼ばれる思想家たちの伝記も収める。諸子百家には、儒家に属する思想家である孔子や（　B　）がおり、（　C　）に属する思想家である（　D　）や荘子がいる。

（ア）諸葛亮　（イ）司馬遷　（ウ）陶淵明　（エ）老子　（オ）韓非
（カ）孟子　（キ）孫子　（ク）法家　（ケ）道家　（コ）墨家

A＝　　　B＝　　　C＝　　　D＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈講義動画中に使用します〉

「儒家」

【孔子】

・姓＝孔、名＝**丘**（きゅう）、字（あざな）＝**仲尼**（ちゅうじ）、出身＝魯。
・「聖人」と仰がれる。
・『詩経』、『書経』、『春秋』を編纂したといわれている。
・孔子と弟子たちの言行を記録されている**『論語』**は、孔子の死後、弟子たちが編集したもの。
・**五常**（**仁**、**義**、**礼**、**智**、**信**）を重んじており、「　　」を最も重要と考えた。
・為政者として身につけるべきは、**「仁」**と**「礼」**だと考えていた。
・**「徳治主義」**…徳がある人物が人民を治めるべきだという考え。**道徳**や**礼儀**で国の秩序を保つ。

【孟子】

・出身＝魯
・「亜聖」（＝聖人の次に立派な人物）と仰がれる。
・著書**『孟子』**（←「四書」の一つ）
・「　　説」（＝人間の本性は「　　」。仁・義・礼・智を身につければ、聖人や偉人になれる）を説く。
・「　　」と「　　」を重視。
・**「王道政治」**…為政者は武力ではなく、仁義・徳に基づいて治めるべきだという考え。
・**「四端の説」**…**「惻隠（そくいん）の心」**（＝人の不幸を黙って見ていられない心）、**「羞悪（しゅうお）の心」**（＝不善を憎む心）、**「辞譲（じじょう）の心」**（＝人に譲る心）、**「是非（ぜひ）の心」**（＝善悪を見きわめる心）が人間の本質で、それが**「仁」**、**「義」**、**「礼」**、**「智」**の糸口とする考え方。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

・「**孟母三遷**」…孟子の母が、孟子の教育のために住居を三回変えて、最適な環境を求めて学問に導いた。

・「**孟母断機**」…孟子が勉強を投げ出して帰宅したら、孟子の母は織っていた織物を断ち切って、学問を途中でやめることは、このように今までの努力を無駄にすることだと戒めた。

【荀子】

・出身＝趙

・著書『荀子』

・「　　説」（＝人間の本性は「　　」。善に導くためには、**学問**や**礼儀**が必要。）を説く。

・「　　」を重視。

・門下から**法家**の**韓非子**や**李斯**が出る。

「道家」

【老子】

・著書『老子』（本人の作かどうか不明）

・「　　」…「人為」である知識や道徳などを排除して、自然の本性に従うべきという考え。

【荘子】

・著書『荘子』（寓話が多い）

・「**万物斉同**」…あらゆるものの価値はすべて平等だという考え。

・老子の「無為自然」の思想も継承。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「法家」

【韓非子】

・若いころに荀子に学ぶ。

・商鞅（しょうおう）・申不害（しんふがい）たちの法家思想を研究。

・著書『韓非子』（秦の始皇帝が読んで感動。秦に招くために韓の国に攻撃をしかけ、韓非子は秦へ。秦の宰相の李斯が自分の地位を脅かされることを恐れ、韓非子を罠にはめて投獄し自殺させた。）

・「　　　　　　」を唱える。

・**「法治主義」**…信賞必罰を基本とし、「法」に従うべきという考え。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第五講

①　「斉ノ景公謂二子貢一ニ曰ク、…」の傍線部の読みを、送り仮名まで含めて平仮名で答えよ。現代仮名遣いでも構わない。

②　「能挙ゲ二方八尺ノ石ヲ一、投グルコトレ之ヲ数丈ナリ。」の傍線部の読みを平仮名で答えよ。送り仮名も付けて答えよ。

③　次の本文中の傍線部は誰を指すか。後の中から一つ選べ。

越前侯光通（みつみち）之時ニ、有リ二西尾伝兵衛ナル者一。嘗テ饋（おく）ルニ二食ヲ於君ノ前ニ一、光通見ル三食中ニ有ルヲ二汚物一。〈中略〉光通怒リテ曰ハク、「寡人ハ言ヘリ二唯ダ看ヨト一、…」。
〈中略〉蓋シ慮レルナラン三其ノ咎ノ及バンコトヲ二厨人ニ一也。

注　越前侯光通…福井藩第三代藩主、松平光通。
　　饋…食事を供すること。
　　厨人…料理人。

ア　将軍　　イ　光通　　ウ　伝兵衛　　エ　厨人

④　「行車数両、将レ出二長夏門一。」の傍線部を漢字仮名混じり文で書き下せ（現代仮名遣いでよい）。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤「仲尼」とは、誰のことか答えよ。

⑥『史記』の著者として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　曾先之　　イ　陳寿　　ウ　司馬遷　　エ　陶潜　　オ　劉向

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第五講】

〔模範解答〕

一

問一　（１）治さ〔治せ〕ずんば〔ざれば〕将に深からんとす（と）。

（２）治療をしなければ、患部は深いところに達するでしょう。

問二　医者が利益を好むことといったら、病気ではない者まで治療して手柄を立てようとする。

問三　桓侯人をして其の故を問はしむ。

問四　しめいといえ〔へ〕ども、これをいかんともするなし。

問五　皮膚の下や、血脈、胃腸の病気であれば治療法があったが、骨髄の病気となると、治療法がなくどうすることもできないので、治療を受けるよう求めなかったということ。（七十七字）

問六　人が気に病むのは、病気が多いことだが、医者が気に病むのは、治療法が少ないことである。

問七　ⓐ＝まみえて　ⓑ＝いい〔ひ〕て　ⓒ＝すでに　ⓓ＝つい〔ひ〕に　ⓔ＝よく

問八　（エ）

問九　A＝（イ）　B＝（カ）　C＝（ケ）　D＝（エ）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈現代語訳〉

一

　扁鵲が斉に立ち寄り、斉の桓侯が彼を食客とした。（扁鵲が）宮殿に入って（桓侯に）お会いして言うことには、「主君は病気をお持ちです、皮膚の下にあります。治療しなければ患部は深いところに達するでしょう」と。桓侯が言うには、「私は病気ではない」と。扁鵲は退出した。桓侯が側近に言うには、「医者が利益を好むことといったら、病気ではない者を治療して手柄を立てようとする」と。五日後、扁鵲がまたお会いして言うには、「主君は病気をお持ちです、血管にあります。治療しなければ（患部は）おそらく深くなるでしょう」と。桓侯が言うには、「私は病気ではない」と。扁鵲が退出した。桓侯は不機嫌だった。五日後、扁鵲はまたお会いして言うには、「主君は病気をお持ちです、腸と胃の間にあります。治療しなければ（患部は）深くなっていくでしょう」と。桓侯は返事をしなかった。扁鵲は退出した。桓侯は不機嫌だった。五日後、扁鵲がまたお会いして、桓侯を遠くから見ただけで退出して逃げた。桓侯は人にその理由を問わせた。扁鵲が言うには、「病気が皮膚の下にあるときは、飲み薬と湿布による治療で治せます。血管にあるときには、針による治療で治せます。腸と胃にあるときは、薬用酒や発酵飲料による治療で治せます。病気が骨髄にあるときは、人間の命をつかさどる神様であっても、病気をどうすることもできません。今、骨髄に病気があります。私はこういう理由で治療をお受けするようには求めませんでした」と。五日後、桓侯は体の具合が悪くなった。人に扁鵲を呼ばせた。扁鵲はすでに逃げ去っていた。桓侯はそのまま死んだ。聖人に病気の徴候を予知させて、良医に早いうちから治療にあたれるようにさせることができれば、病気は治すことができ、体は生きることができるのである。人が気に病むのは、病気が多いことだが、医者が気に病むのは、治療法が少ないことである。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

＊**「儒家・道家・法家」**の空欄

「儒家」

【孔子】

・五常（仁、義、礼、智、信）を重んじており、**「仁」**を最も重要と考えた。

【孟子】

・「**性善説**」（＝人間の本性は**「善」**。仁・義・礼・智を身につければ、聖人や偉人になれる）を説く。

・**「仁」**と**「義」**を重視。

【荀子】

・「**性悪説**」（＝人間の本性は**「悪」**。善に導くためには、学問や礼儀が必要。）を説く。

・**「礼」**を重視。

「道家」

【老子】

・**「無為自然」**…「人為」である知識や道徳などを排除して、自然の本性に従うべきという考え。

「法家」

【韓非子】

・**「信賞必罰」**を唱える。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答解説　第五講

〔解説〕

① 「謂」は「いフ」。ここでは「曰く」に続いているので、「謂ひて曰く」。

② 「能」は、肯定文なら「よク」と読み、「できる」という可能の意味。ちなみに、「不能」は「あたハず」と読み、「できない」という意味。

③ 「寡人」は「徳の少ない人」という意味から転じて、「諸侯・王の自称（謙遜表現）」を表す言葉。この会話文の直前に「光通が怒って言うことには」とあるから、これを話しているのは「光通」。よって、その他は読まずとも、イが正解だとわかる。

④ 主語は直前の数台の車。「将」は、動詞「出」の上にあるので再読文字「将ニ〜（ント）す」と考えられる。動詞「出」の下の「長夏門」は目的語。「出」はダ行下二段動詞「出づ」。「未然形＋ントす」なので、「出で」と活用させる。よって、すべて繋げると「将に長夏門を出でんとす」となる。

⑤ 「仲尼」とは、孔子の字である。ちなみに、名は丘。

⑥ 『史記』の著者は文学史で頻出。ウの司馬遷である。過去に記述で書かせた大学もあるので、文学史が必要な人は書けるようにしておくこと。ちなみに、アの曾先之は『十八史略』、イの陳寿は『三国志』、エの陶潜（＝陶淵明）は『桃花源の記』、オの劉向は『戦国策』の著者である。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔解答〕

①　いひて〔いいて〕　②　よく　③　イ

④　将に長夏門を出でんとす。　⑤　孔子　⑥　ウ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。